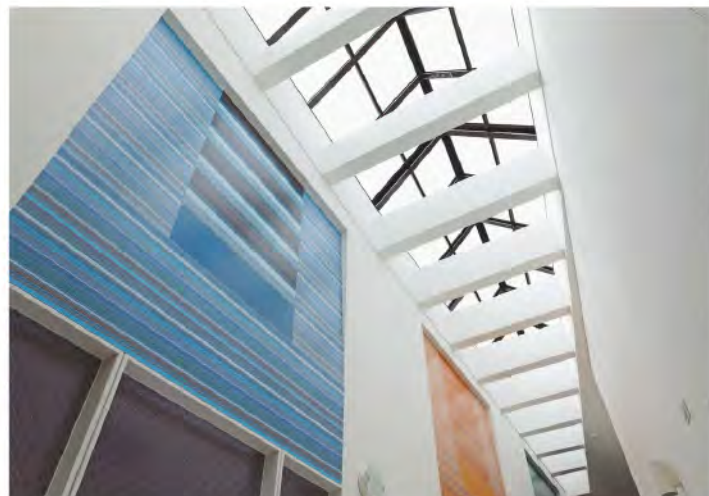


◆ 建築文化賞



猪苗代町体験交流館「学びいな」…………… 耶麻郡猪苗代町

(建築主)猪苗代町

(設計者)青島・山口建築設計共同体

(施工者)八光・村越建設工事共同企業体(建築)、日本電設工業株式会社東北支店福島支社(電気)、新日本空調・アークズ会津特定建設工事共同企業体(機械)

町民の憩いの場として長年建設が望まれていた多目的ホールである。公園広場から望む会津磐梯山の稜線を遮らないように配慮された変化に富んだ連続性を持つ大屋根が特徴的で、周囲の環境への配慮、周辺からの見え方が秀逸な作品である。

ホールのフライトワーのボリュームによって生じた高低差を、落雪に配慮した屋根傾斜とすることで、大きな屋根の下にうまく納め、外観のデザインをバランス良くまとめあげている。雪深い地方における屋根からの落雪対策として、地下水を利用した消雪装置や掃き出し窓の対策など細部まで良く配慮されている。

複雑な屋根形状を反映して内部天井も工夫を凝らしており、設計者の意図とともに町担当者や施工者の施設に対する熱い思いが伝わってくる空間である。500人収容の多目的ホールは、緊急時の避難場所として活用するために、フルフラットとなるように可動座席とした工夫が施されており、さらに、ホールや各室の間仕切りも開閉自在とするなど、抑えられたコストの中で良く計画されている。

また、管理運営に際しては町民が主体となって運営会議を開催し、現在においても地元の団体が協議しながら会議や研修等で施設を存分に活用しており、今後も、地域の文化発展のために有効活用を図りながら、大切に維持管理されることが期待できる作品である。

の 紹 介

◆ 建築文化賞準賞



白ばら幼稚園 …………… いわき市山田町

(建築主) 学校法人いわき幼稚園
(設計者) 株式会社K計画事務所
(施工者) 常磐開発株式会社

水平の屋根と白壁の中に木板仕上げを混じえた外観が、緑豊かな周囲の環境に見事に調和している。思い切り良くフラットルーフにしたことで、外観に軽さを与え、水平線はのびやかな表情を作りだしており、さらに、外壁や軒先に曲線を用いることで子供達に楽しく、気持ちの良い空間を提供している。

内部の中央の多目的空間は天井を高くし開放感を与え、両側に面した教室群の天井を低く抑え、異なる高さの屋根の間に作られた隙間を光窓とすることで、多目的空間と教室の両方に自然光が入るように工夫されている。東西と南面に広く開放されたガラス戸によって、自然の風、光が気持ちよく通り抜け、空調無しでも快適な環境となっている。エントランスのさりげなさや職員室とオープンスペースの緩やかなしきりでつくり出される空間は、のびやかさがあって好感が持てる。

シンプルな建築に、運営者が設えたセンス良い家具や玩具などが映え、子供に向き合う施主と設計者とのコラボレーションで相乗効果を生み出している。

◆ 優秀賞

(※五十音順)

高野山真言宗冷泉寺……いわき市小名浜
 (建築主) 冷泉寺本堂再建事業実行委員会
 (設計者) 隈研吾建築都市設計事務所
 (施工者) 常磐開発株式会社

周囲の環境に配慮した建物の配置と建築の構成が秀逸である。この建築の外観を特徴づける大屋根が本堂と庫裏の2つのボリュームを覆い、それらの間の空間は吹き抜けとなっていて、正面境内から北側の墓地へ視線が抜けるように計画されている。屋根勾配も南側は緩やかにして圧迫感を弱めている。また、大屋根からの自然光の取入れ方にも工夫が見られる。

鉄骨造でありながら、天井、壁に木材を用いて内部空間を暖かみのあるものとしている。色彩も黒・グレー・白に限定し、本堂内部を仏殿として落ち着きと威厳のある空間としている。



◆ 優秀賞

作楽(さくら)……白河市田町
 (建築主) 中村敬子
 (設計者) 有限会社辺見美津男設計室
 (施工者) 株式会社白岩工務店

取り壊されることになっていた蔵を保存改修した計画で、既存の蔵としての構造と、なまこ壁の仕上げなどを極力残しながら、現代感覚も取り入れ魅力的な空間を作り出している。

1階玄関部は平面を大きくとり、2階上部の屋根構造まで吹き抜けとし、仲間や市民を交えた様々なイベントに使える空間としている。蔵特有の開口部が少ない建築ではあるが、地域に開かれた建築を目指す設計者の意図が感じられる。

貴重な建造物を120年ぶりに改修し、現代社会に甦らせた意義は大きく、蔵の再生のモデルともなるものである。今後もほころびを紡ぎながら使い続け、地域に地域らしさを残し、後世へ伝えて行くことを期待したい。



◆ 優秀賞

只見町立明和小学校……南会津郡只見町
 (建築主) 只見町
 (設計者) 株式会社呂建築事務所
 (施工者) 大正・南会西部特定建設工事共同企業体

既存中学校を改修し、増築部を加えて小学校として再生したもので、素材、屋根、窓などを統一することで外観を一体感のあるものとした作品である。内部の仕上げも地場産の杉材を用いて暖かみのある建築に作り上げていて好感が持てる。

総ての窓を180°回転可能なトリプルガラスサッシにしたことで、雪国型の冬期ばかりの配慮でなく、夏期の通風や清掃のメンテナンス性にも配慮したことは評価できるが、子どもたちが操作しにくい形状であったことが惜まれる。

それでも、既存校舎の雰囲気を残しながらエコ改修で機能を高めるとともに、地元木材の積極的な活用による快適な空間を形成している点が高く評価された。





◆ 特別部門賞

(※五十音順)

いわき平競輪場……………いわき市平

(建築主) いわき市

(設計者) 株式会社日本設計

(施工者) 大林組・常磐開発・東部産業・大和電設工業・クレハ電機・クレハ設備・日化エンジニアリング特定建設工事共同企業体(一期工事)、クレハ錦建設株式会社(二期工事)

競輪場のバンク中央に、市民が利用できる多目的の広場を提案し、競輪と市民の距離を近づけようとする考え方が優れている。

全体としてハイテック調にまとめられ、すみずみのディテールまで良くデザインされている。メインスタンドは内部を白基調にまとめ、従来の競輪場のイメージを払拭する工夫がなされている。

また、ピットを通気を利用したエコシステム、外壁や屋根の遮熱性、住民に配慮したスタンドの作り方や照明計画など高い技術で計画されている。

単なるレース中心の施設にとどまらず、「地域住民と共生出来る施設」にしたいという考え方を実現するための工夫が随所に見受けられる作品である。

◆ 特別部門賞

雪国型 広域中山間地 医療施設 あべクリニック

……………南会津郡南会津町

(建築主) 阿部弘一

(設計者) 株式会社はりゅうウッズスタジオ

(施工者) 株式会社芳賀沼製作

シンプルな片流れの屋根を持った診療所兼住宅の作品である。2階住居部分は矩形のボリュームを切り取ったように各所にテラス空間が作られている。テラスの外壁にあたる部分には防雪ネットが張られテラス空間を内部空間のように感じさせることで、様々なライフスタイルが期待でき、閉鎖しがちな雪国の建築にひとつの可能性を示唆している。

また、自らが製材した地場産の木材を活用するなど地産地消にも配慮している。

診療所部分は患者にとって明快かつプライバシーを配慮した一方通行の動線を取り入れるなど、診察、待合の考え方について施主の要求を受け止めながらよくまとめている。

